

## 平成 26 年度第 5 回一関市総合計画審議会 会議録

1 会議名 平成 26 年度第 5 回一関市総合計画審議会

2 開催日時 平成 26 年 10 月 15 日（水） 午前 10 時から午前 12 時まで

3 開催場所 なのはなプラザ 3 階 一関公民館 大会議室

4 出席者

(1) 一関市総合計画審議会委員 23 人

阿部新一委員、及川修三委員、及川忠委員、小山亜希子委員、金野久美委員、小岩邦弘委員、坂本紀夫委員、佐藤芳郎委員、菅原行奈委員、菅原勇委員、千葉和行委員、千田博委員、千葉博委員、千葉真美子委員、槻山チエ委員、徳谷喜久子委員（副会長）、永澤由利委員、永山克男委員、沼倉恵子委員、畠中良之委員（会長）、原田哲委員、三浦幹夫委員、水谷みさえ委員

欠席委員 4 人

小山麗子委員、木村静恵委員、菅原五三男委員、松岡千賀子委員、

(2) 市出席者

田代善久副市長、佐藤善仁企画振興部長、千葉敏紀企画調整課長、佐藤正幸企画調整課長補佐、小山貴史主任主事、菊地絵理子主任主事

5 会長挨拶

基本構想のまちづくりの考え方については、ワークショップ、アンケート、プロジェクトチーム会議等の結果を踏まえ、会長案として 7 案を提示し、前回の審議会でも 4 案とした。

前回の審議会後、プロジェクトチーム会議を 2 回開催した。始めにまちづくりの考え方を検討し、そのまちづくりの考え方に基づいて将来像の案を作成した。

本日は、基本構想の素案を決定したいので積極的なご意見を頂戴したい。

6 市長挨拶（代理 田代副市長）

前回の審議会では、総合計画基本構想のまちづくりの考え方を検討していただき、その後、プロジェクトチーム会議が開催され、一関市の将来像について検討していただいたところと伺っている。

市では、総合計画策定委員会を開催し、総合計画審議会での検討結果を、基本構想に基づき検討させていただいているところである。

本日は、プロジェクトチーム会議でまとめた基本構想についての素案を報告していただくものと伺っており、今週の土曜日には、ワークショップ参加者を対象としたタウン

ミーティングが開催されると伺っている。

総合計画審議会を中心として、多くの市民の皆様に参画いただき、計画を策定していただいたことに感謝申し上げます。

## 7 議 題

- (1) 一関市次期総合計画の策定について
  - ア 総合計画体系案について【資料No.24】
  - イ タウンミーティングの資料について【資料No.25】
- (2) 総合計画審議会委員の意見等への回答  
総合計画審議会委員の意見等への回答【資料No.26】
- (3) その他

## 8 審 議

- (1) 一関市次期総合計画の策定について  
資料No.24～25 について、事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を求めた。  
【質疑・意見等】
  - ① 審議会委員意見  
「次世代支援」の考え方について、人材の育成が大切だと思うが、この文言だと人材の育成が入らないのでないか。
    - ・ 会長  
子育て支援と、中高生に一関市に帰ってきてもらうことを含んだ表現としている。郷土を誇りに思う子どもを育てることがまちの活性化につながるという意味合いの表現とした。まちづくりの目標と人材の育成とを併せて読み取ってもらいたい。
  - ② 審議会委員意見  
日本国内で人口が減少している。人口を増やす、人口を減らさないまちづくりを考え方に入れるべきでないか。
  - ③ 審議会委員意見  
人口減少の大きな原因は働く場がないためであるが、産業振興を考え方に入れるのは違うと思う。地域の魅力を感じてもらい、いつか戻ってきてほしいという考え方が本流である。
    - ・ 会長  
重点プロジェクトに人口減少への対応を入れている。  
市民が幸福を感じて一関に住んで良かったと思うまちづくりからきている。  
どのように取り組んでいくかは基本計画になる。全国的な問題なので、考え方には入れないことにしたい。
  - ④ 審議会委員意見  
将来像の「いのち輝くまち」の「まち」を入れた理由は何か。リズムがある方がいいので、「まち」は入らない方がいい。

- ⑤ 審議会委員意見  
将来像について、「みつけよう」を入れた方がいい。

将来像の素案は「みつけよう育てよう 郷土の宝 いのち輝く一関」に決定した。

- ⑥ 審議会委員意見  
まちづくりの考え方で、地域と郷土をあえて混在させているのはなぜか。
- ⑦ 審議会委員意見  
郷土は全体、地域は細かい地域であるにとらえて理解した。
- ⑧ 審議会委員意見  
地域は客観的に見たもの、郷土は人とのつながり等を含めたものと理解した。
- ⑨ 審議会委員意見  
郷土の資源という言葉はよくわからない。地域資源としてはどうか。
- ⑩ 審議会委員意見  
安全は行政が担うものでないか。
- ⑪ 審議会委員意見  
すべての安全システムを行政が担うことは難しい。
- ⑫ 審議会委員意見  
ハードの取組は行政で、ソフトの取組は市民でないか。
- ⑬ 審議会委員意見  
安全には、各々が許せる許容範囲があると思う。
- ⑭ 審議会委員意見  
安全・安心と分けたほうがいい。安全安心だと説明できないものがある。
- ・ 会長  
総合計画は行政と市民の計画であり、行政が行うことが入ってもいいので、安全・安心とする。
- ⑮ 審議会委員意見  
全体的に文言はわかりやすいものがある。  
また、来年度策定する基本計画を吸収できる柔軟なものとした方がいい。

まちづくりの考え方の素案は、以下に決定した。

- ・ 「郷土の宝物」地域資源を活用しよう
- ・ 「住民主体」自ら考え共に行動しよう
- ・ 「次世代支援」郷土を誇りに思う心を育てよう
- ・ 「安全・安心」みんなで支え合い暮らしていこう

- (2) 総合計画審議会委員の意見等への回答  
事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を求めた。

【質疑・意見等】

なし

(3) その他

なし

12時00分 閉会

9 公開、非公開の別 公開

10 傍聴者の数 2人（報道機関）

11 担当課 企画振興部企画調整課